

安全データシート

1. 化学品および会社情報

製品の名称 : キリットS A
供給者の会社名称 : 青葉化成株式会社
住所 : 宮城県仙台市泉区大沢三丁目2番地5
電話番号 : 022-346-1301
FAX番号 : 022-772-2030
整理番号 : G1-138

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】

物理化学的危険性

引火性液体 区分2

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2

生殖細胞変異原性 区分1

生殖毒性 区分1

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性、麻酔性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(神経)

*上記で記載がない危険有害性は、「分類できない」「区分に該当しない」

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気

強い眼刺激

遺伝性疾患のおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気またはめまいのおそれ

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること/アースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取り扱い後は十分に手洗いをすること。

【応急措置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。
皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
次の場合は医師の診断/手当てを受けること。（眼の刺激が続く場合、ばく露またはばく露の懸念がある場合、気分が悪い場合）
取り扱い後は十分に手洗いをすること。

【保管】

換気の良い涼しい場所（冷暗所）に密栓して保管すること。
施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器等を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学品又は一般名：エタノール製剤

成分(主成分/危険有害物質対象)	官報公示整理番号	CAS 番号	含有量
エタノール	化審法2-202	64-17-5	約55.7%

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再利用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗い、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：水でよく口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、水などを用いる。
使ってはならない消火剤：特になし
特有の消火方法：消火作業は、風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入を禁止する。周囲の設備等に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用すること。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
- 封じ込めおよび浄化方法
および機材 : 少量の場合は、吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。直接眼や皮膚に触れないように保護衣、保護手袋、保護眼鏡などを着用して作業する。火気を避ける。
- 安全取扱注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。できるだけ換気のよい場所で作業する。
- 接触回避 : 特になし
- 保管
- 安全な保管条件 : 容器密閉して、直射日光を避け換気の良い場所で保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし
- その他、消防法、労働安全衛生法等の法令の定めることに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : ACGIH エタノール:1000ppm
- 設備対策 : 屋内作業の場合はできるだけ密閉された装置、機器または必要に応じて局所排気装置を使用する。
- 保護具
- 呼吸器用保護具 : 防じんマスク、簡易防じんマスクなど
- 手の保護具 : 保護手袋（不浸透性の材質のもの）
- 眼、顔面の保護具 : 保護メガネ（ゴーグル）、保護面など
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護服、保護長靴、保護前掛けなど

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: 特異臭
融点/凝固点	: データなし
沸点または初留点および沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 22 °C . . . * 1
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 3.6±0.5 (1%水溶液)
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度および/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件下では安定。
化学的安定性	: 通常の使用条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 特記すべき反応性はない。
避けるべき条件	: 熱、炎、発火原因になるもの。屋外や高温多湿場所での保管、加熱。
混触危険物質	: 特記すべき物質はない。
危険有害な分解生成物	: 自己分解により有毒ガスを発生することはない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 使用原料の加算式判定の結果より、区分に該当しないとした。LD50 ; > 2000 mg / kg
急性毒性 (経皮)	: データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入: ガス)	: データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入: 粉じん・ミスト)	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、区分2とした。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、区分1とした。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、区分1とした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、区分3とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、区分1および区分2とした。
誤えん有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性)	: 使用原料の加算式判定の結果より、区分に該当しないとした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 使用原料の加算式判定の結果より、区分に該当しないとした
生態毒性	: 混合物としての知見なし。
残留性・分解性	: 混合物としての知見なし。
生体蓄積性	: 混合物としての知見なし。
土壤中の移動性	: 混合物としての知見なし。
オゾン層への有害性	: 混合物としての知見なし。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

1 4. 輸送上の注意

国内規制

陸上輸送	: 消防法、毒物劇物取締法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法、港則法等に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策 および条件	: 運搬に際しては、容器にもれないこと及び所定の表示のあることを確かめ、 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法	: 危険物	: 該当せず
毒物劇物取締法	: 毒物、劇物	: 該当せず
労働安全衛生法	: 通知対象物 (第57条の2)	: 政令番号61 エタノール(約55.7%含有)
PRTR法	: 第一種指定化学物質	: 該当せず
	: 第二種指定化学物質	: 該当せず

1 6. その他の情報

引用文献等

- * 1 : 財団法人バイオインダストリー協会：アルコールハンドブック第9版(1997)
その他自社及び外部機関による確認データ

注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づくものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、この情報は法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。